



ふじ伊豆 PLUS



あいら伊豆
地区版広報誌

～組合員の皆さまとJAふじ伊豆 あいら伊豆地区をつなぐ地区版広報誌～

NEWS 1



9/9

落花生目ぞろえ会

9月9日に営農経済センターで、「いで湯っこ市場」出荷者を対象に大粒落花生「おおまさり」の目ぞろえ会と昨年導入した洗浄機の操作説明会を行いました。

出荷者ら13人が参加し、営農アドバイザーから今年の生育状況の説明や規格の確認が行われた後、洗浄機の操作について実際に操作をしながら説明。営農アドバイザーは「管内で収穫する『おおまさり』を多くの方に知ってもらうために今後もPRしていきたい」と話しました。



出荷規格を確認する会員ら

NEWS 2



9/29

大池小児童が荻支店見学

9月29日に大池小学校2年生21人が荻支店に店舗見学に訪れました。大池小学校では、生活科の授業で働いている方々の工夫や仕事の大変さを学ぼうと、周辺地域の店舗見学を行っています。

当日は店舗見学の後、田中大樹支店長にJAふじ伊豆の名前の由来やこの土地になぜ建てたのか、など多くの質問をしました。参加した児童は「JAについて知らなかったことを知ることが出来てうれしい」と笑顔で話しました。



児童の質問に答える田中支店長



NEWS 3



9/30

災害時の協力協定を熱海市と締結

葬祭センターは、9月30日に「災害発生時における棺及び葬祭用品の供給並びに遺体の搬送等の協力に関する協定」を熱海市と締結しました。

地震・風水害、その他大規模な災害が発生し同市内全域で死亡者が出た場合、棺、葬祭用品の供給、遺体の搬送などの協力を円滑に実施するためのものであり、西野由季也地区本部長は「災害はないことが1番だが、想定外の災害がある。スムーズな対応が出来るように努力する」と話しました。

NEWS 4



伊東市産の 10/1 新米販売開始

「いで湯っこ市場」は10月1日から伊東市産新米の販売を始めました。同市池、十足地区産の米「コシヒカリ」と「ひとめぼれ」が店頭並びました。

今年は、従来の池地区の生産者2人に加え、昨年池地区地権者らで設立した池農業開発(株)と、十足の農家カフェ&レストラン「風の詩」が出荷しました。

今年から出荷を始めた「風の詩」の小川富子さんは「今年は天候に恵まれ例年よりも収穫量が多く、おいしいお米ができた」とうれしそうに話しました。

池農業開発(株)は、県営農業農村整備事業を活用し、昨年度に区画整理した水田1区画で初めて収穫を行い、同直売所に出荷しました。



伊東市産の新米を並べる小川さん

あいら伊豆地区の情報満載!

Aira Area

あいら伊豆地区本部ニュース [あいらエリア]

NEWS 5



10/13

人形供養祭開催

10月13日、葬祭センター伊東ホールで第10回「思い出の品・人形・ぬいぐるみ人形供養祭」を行いました。

今回管内住民135軒から約3,500体の雛人形やぬいぐるみが集まりました。当日は日蓮宗の普門山慈眼寺(静岡県伊東市)の阿部育修住職が読経し供養。今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一般の方の参列はできませんでしたが、供養の様子をYouTubeでライブ配信しました。



たくさんの人形を前に読経する阿部住職

また、今回集まった供養料17万2,500円は、こどもたちのために使ってほしいと全額伊東市社会福祉協議会に寄付しました。



▲供養祭の様子

NEWS 6



9/21 10/2

青壮年部 草刈り作業

青壮年部は、9月21日に田代ほ場の草刈り、10月2日は営農経済センターや「いで湯っこ市場」周辺の草刈りを行いました。草刈りには新入職員も参加し、草刈り機の使用方を教えながら作業しました。初めて草刈り機を使った新入職員は、「草刈り作業の大変さを実感し、今後も生産者のお役に立てる活動をしていきたい」と話しました。



草刈りをする部員



